

**第24回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技
茨城県大会結果速報(2日目男子第一試合)**

平成17年7月31日

【Aコート9時開始】

男子1位リーグ第一試合

吉川	51	20	VS	7	41	習台二
埼玉県		10		12		千葉県
		11		10		
		10		12		

1Q お互いの闘志をぶつけ合う注目のマッチアップ。攻守のバランスの良かった吉川が先発全員得点とリズムに乗り13点リードで1Q終了。

2Q 3分過ぎ習台二 が立て続けに決め反撃を開始。対する吉川も のリバウンド力に対抗。習台二残り1分半で7ファールとなり流れが止まる。

3Q 開始1分半、吉川 が4ファールとなり流れが変わる。習台二のブロックショットが決まり始める。吉川我慢のQが続くも が粘り強いディフェンスを見せ一進一退の攻防。

4Q 習台二 を中心に必死の追い上げ。吉川 ミドル ボールコントロール インサイドで対抗。1Qでのリードを守りきった吉川が勝利。

総評 確実性が勝敗を分ける。攻守のリズムを維持する精神力の逞しさが勝因か。

(戦評) 細谷 文彦

【Bコート9時開始】

男子2位リーグ第一試合

佐野	36	12	VS	7	34	高崎北部
栃木		6		8		群馬
		6		11		
		12		8		

1Q 両チームゆっくりとしたゲーム展開の中、佐野のゴール下、高崎北部のミドルシュートの点の取り合いで1Qは両チームとも緊張の中探りあいをし終了。

2Q 佐野 のリバウンドからのシュートが入りだした。高崎北部は のポストプレーからのシュートと のミドルシュートで応戦し、前半を18-15の白熱した点の取り合いになった。

3Q 高崎北部の粘り強いディフェンス、佐野の戻りの早いディフェンスでお互いリズムをつかみだした。オフェンスは高崎北部のミドル・ロングが次々と決まり高崎北部が逆転に成功し、2点リードで終了。

4Q 両チーム一進一退の攻防で佐野 のポストプレー、高崎北部は3Qに引き続き のシュートで点の取り合いになる。残り1分30秒、速いパス回しから佐野 がカットインで逆転に成功し、ゲームを制した。

総評 前後半通してオフェンス・ディフェンスともに白熱したゲーム展開で、両チームともゲームのリズムの取り方が似ていた。気迫のこもった見応えのある試合になった。

(戦評) 杉山 昌彦

【Cコート9時開始】

男子3位リーグ第一試合

下妻 ジャスティスJr	50	12	VS	10	35	池の川
茨城B		14		7		茨城A
		12		6		
		12		12		

1Q 池の川ゾーンディフェンス、下妻オールコートプレスで試合開始。池の川は を軸として、下妻は速攻を中心に のインサイドを使うオフェンスで展開する。ミスが目立ったが、お互いにチームカラーを活かし互角の内容。

2Q 両チーム共に1Qと同じディフェンス。下妻はプレッシャーをかけながら、 のリバウンドで確実に得点を重ねる。一方、池の川は 番を中心に攻めるがなかなか追いつけず下妻9点リードで後半へ。

3Q 池の川はオールコートでプレッシャーをかけ始める。池の川 がコートに戻るとチームに躍動感が出てくるが、下妻は のインサイドでディフェンスの頑張りから速攻に持ち込む展開で除々に点差をひろげる。

4Q 両チーム3Qと同じディフェンスシステム。池の川は下妻のプレスをなかなか突破できず苦しい展開。一方、下妻は点差が開いたためか、落ち着いた試合展開で点差が開いてしまう。池の川も最後まで諦めず頑張りも試合終了。

総評 茨城県予選決勝では池の川が勝利したが、今回は下妻がリベンジを果たす。終始下妻の流れで試合が終了したが、お互いに長所が出た良い内容の試合だった。お互いに次の試合に期待できる。また頑張り欲しい。

(戦評) 木村 晃